

新春を新たな気持ちで迎えて下さったこと  
 でしょう。昨年は、豊中駅前まちづく  
 り会社の運営に色々とお世話にな  
 りました。まちづくりニュースの協  
 賛広告をはじめ、レンタルルームの  
 ご利用、アイボリー寄席・新免館寄席・  
 アイボリーフォーラムなど各種の催事  
 への参加、川柳投稿…。昨年暮れには、  
 このまちづくりニュースのコラムである『豊  
 中駅前の歴史を振り返る』と『まちなかの散歩』



が地元・大池小学校で教材として活用してくだ  
 さるといふ榮譽に浴することが出来ました。  
 豊中駅前まちづくり会社も昨年12月21  
 日で13年目に入りました。有限会社と  
 はいえ、出資者も全員がまちを愛する  
 まち中の方であり、スタッフ全員がボラ  
 ンティアで働いております。地域に馴染んで、  
 まちづくりの役に立ちたいという歩みが少し  
 は認められたのかとスタッフは喜んでおります。  
 本年もよろしくおしいたいします。

## 『夢は枯野を駆け巡る』(2)

こだわり続けて年を越してしまい、なお吹  
 っ切れない思いを伝えたく、暮れの紀行文の  
 続きを記事にすることをお許し頂きたい。

東日本の被災地を訪ねる旅の途中のこと  
 である。これまで多くの観光客で賑わって  
 であろう最澄の高弟が開いた伊達市霊山の地。  
 そこでテントを張って果物・漬物を出張販売  
 する被災住民。思いやりの心、人へのやさし  
 さをモットーとする“まじい”の力でコミュ  
 ニティを再生し、いったんは避難者を受け入  
 れながら風の悪戯によって自ら  
 も避難者と転化して役場にも村  
 中の民家にも人の気配のなくな  
 った飯館村。それでも使命を果  
 たすため“通い”でやってきて  
 いる宮司。黛まどかの選による  
 句碑が山麓に並び「あいの句  
 碑」。思わず“句碑覆う秋草の  
 中人恋し”と口にする。原発  
 20キロ圏内の広野町。防護服

をきた作業員を乗せた車が行き交う。未だに  
 線量の高い敷地内で原子力発電所の事故収束  
 に向けた命を削っての必死の作業が続いてい  
 ることを窺わせる。一方で原発放射能被ばく  
 の警戒線を緩めるや留守宅の金目のものをご  
 っそり持って行かれたと緊急避難した高齢の  
 女性が嘆く。遠く福岡県警・広島県警・長崎  
 県警らが警戒するのはそうした不埒な輩である。  
 日本人の美德が伝えられる中で、あまり伝え  
 られていない事実であった。あの誠実な日本  
 人であるはずがない？だとすれば移民を受け  
 入れなければ高齢者人口を支  
 える労働力人口が確保できな  
 い年齢構成となると指摘され  
 る我が国の行く末はどうなる  
 のだろうか？

福島県いわき市岩間町から見る  
 原子力発電所(2011.11.13)



東日本大震災 写真保存プロジェクトより

たくさん時間、金、知恵が  
 要る。我々は高度成長期に何  
 をしてきたのだろうか？

“旅を止んで、夢は枯野を駆け巡る”

### 第46回 アイボリー・フォーラム

日時: 2012年1月31日(火)午後6時半から  
 場所: ホテルアイボリー 参加費用: 1,000円  
 ※事前にお申し込みください

新春放談  
 講師/  
 笑福亭由瓶

笑福亭 由瓶  
 “え!そうだったのが”  
 落語を語る

### 第10回 新免館寄席

豊中で楽しめる寄席  
 趣きある建物で極上の落語をお楽し  
 みいただいた後、新免館寄席特製  
 のお食事をお召上がりください。

林家 染弥  
 笑福亭 由瓶

2012年1月31日(火) 午後3時半開演  
 会場: 新免館(アイボリー隣) 前売券をお求め下さい。  
 参加費: 3,000円 食事代を含む

### 第14回 アイボリー寄席

2012年 2月21日(火)  
 会場: ホテル・アイボリー

午後7時開演  
 前売券: 1,200円  
 目享 八天  
 笑福亭 由瓶  
 笑福亭 べ瓶

午後3時開演  
 前売券: 1,000円  
 笑福亭 由瓶  
 笑福亭 べ瓶

前売券はホテルアイボ  
 リー・ジオ鍼灸整骨院  
 ・鮮魚こばやし また  
 はまちづくり会社で販  
 売しています。

豊中駅前まちづくり会社 TEL: 06-6858-6190